

明神 太郎 さん テスト分析レポート

中学3年生 社会 2017年5月 1学期中間テスト

72

 / 100点 得点率 **72%**

学校の採点区分 意欲関心 10/10 思考判断表現 12/22 技能 14/22 知識理解 36/46

目 全体所見

今回の社会（1学期中間テスト・地理歴史公民総合）は72/100点でした。提出物への取り組みを示す意欲関心は10/10と満点で、ASEANや排他的経済水域、EURO・OPECといった一問一答形式の用語問題もほぼ全問正解しており、知識理解（36/46）は着実に得点できています。一方で、資料や年表を読み取って答えをまとめる技能（14/22）、そして理由や経緯を自分の言葉で説明する思考判断表現（12/22）でまとまった失点が見られ、この2つが今回の重点分野です。

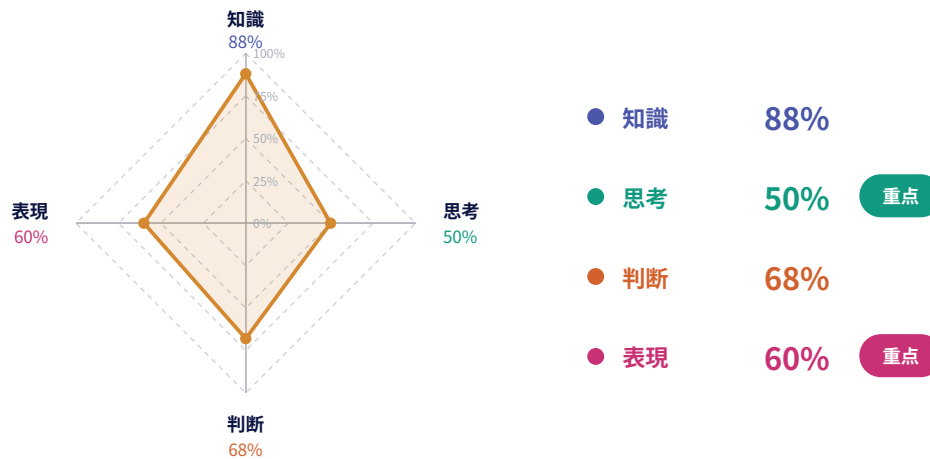
答案から見た傾向

- 地名・国際機関の略称・歴史用語など、暗記して答える一問一答形式の設問はほぼ全問正解しています。地理・歴史の基礎的な語句はしっかり定着しています。
- 選挙権の要件（納税額・年齢）や条約の内容など、年号や数値を正確に覚えて答える設問で一部誤りが見られます。似た数字を持つ制度同士が答案の中で混ざっている様子がうかがえます。
- グラフや年表・資料を読み取って理由を説明する設問、出来事を年代順に並べる設問で失点が集中しています。個々の知識はあるものの、複数の資料を関連づけて整理する場面にやや課題が見られます。

明神 太郎 さん 2017年5月 1学期中間テスト (社会)

4観点の得点率

「重点」の2観点を下段で解説しています



観点別アドバイス

思考 今回の重点

複数の資料を比べて理由を説明する設問（税負担の公平性など）で失点が見られます。答えを決める前に、資料のどの部分とどの部分を比べたのかを一言メモしてから理由を書く練習をすると、説明に筋が通ようになります。

表現 今回の重点

漢字指定の説明問題や記述問題で、内容は合っても書き方が指定条件（字数・漢字）に届いていない答案が見られます。下書きを一度声に出して読み、条件に合っているかを確認してから清書する習慣をつけると安定します。

学習アドバイス

全体として72点。地理・歴史の用語を覚える「知識」の力はすでに88%と高く、大きな強みです。一方で、資料を比べて理由を説明する「思考」と、条件に沿って文章を書き切る「表現」の2つが今回の重点分野です。知識はもう十分にあるので、次は「持っている知識をどう組み立てて答えに書くか」の練習に時間をかけると、得点が安定して伸びていきます。

太郎さんへ

ASEANやEURO、ナイル川など、覚えるべき用語はほとんど完璧でした！次は、その知識を使って理由を説明したり、条件に沿って書き切ったりする練習を、一緒にしていきましょう。